



発行日 平成 28 年 8 月 4 日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通 5 丁目 3 番 26 号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第 30 回兵庫県朗読ボランティア交流会へのお誘い

皆様のお力をお借りしながら、今年も交流会の準備を着々と進めております。
今年、記念すべき 30 周年です。山田烈子氏をお招きして、朗読とは何かを改めて学べる
貴重な機会を設けたいと考えております。どうぞお楽しみに！

日 時： 2016 年 11 月 9 日 (水)
13:00~16:00 (12:30 開場)

場 所： 新長田 ピフレホール (3F)

会 費： 会 員 800 円 (当日券 1,000 円)
非会員 1,000 円 (当日券 1,200 円)
リスナー・ガイドヘルパー 400 円 (当日券 500 円)

内 容： 第 1 部
30 周年記念式典
第 2 部
山田烈子氏の朗読
第 3 部
グループ紹介 (うちの自慢)

参加申込み：
別紙参加申込書にグループの参加人数を記入のうえ、
8月25日(木)までに返信用封筒にてお申込み下さい。
後日、振り込み依頼書を送ります。
入金確認後、入場券を送付いたします。
※8/26以降の申し込みについては当日券扱いとなります。

交流会についてのお問合せは各ブロック担当幹事までお願いします。
詳細については次号のポシエツトでお知らせします。

山田烈子氏 プロフィール



「山田朗読研究会」主宰。こうべ市民福祉大学講師。1974年「朗読ボランティア」としてスタートし、東洋医学書をはじめ、小説、エッセー、広報誌など多数を朗読し、視覚障がい者の人たちの社会復帰や生活を支えてきた。1981年朗読講師活動を開始し、現在県下広域を精力的に駆け回り後進の指導に情熱を注いでいる。技術指導と共にボランティア実践者として「福祉の心」も語れる講師として多くの信頼を得ている。(1987年「兵庫県朗読ボランティア連絡会」を創設し、13年間代表幹事を務めた。)

近年、自ら定期的に朗読発表の場を持ち、また大小様々なステージで披露し、「山田ワールド」に魅了されたファンで毎回会場は満席となっている。長年に亘るボランティア育成の実績に対し、これまでに「兵庫県知事賞」、「神戸市長表彰」、国際ソロプチミスト神戸より「女性栄誉賞」、コープ神戸より「福祉賞・虹の賞」などを受賞している。

第14回 山朗研 朗読ライブのお知らせ

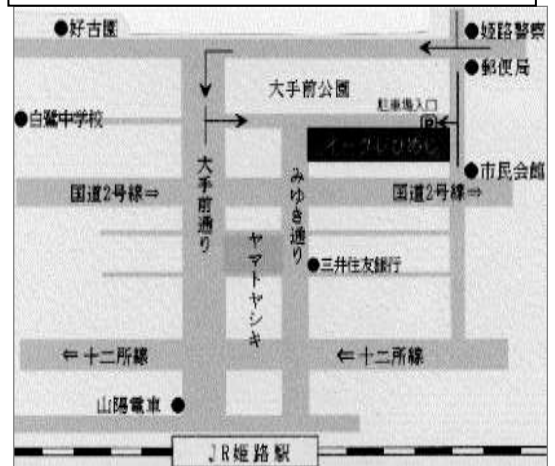
日 時 : 10月21日(金)
午後1:00 (開場) 1:30 (開演)

場 所 : JR新長田駅前 ピフレホール
(地図は前頁参照)

参加費 : 1,000円

問 合 せ : 野本和子 (TEL&FAX 0798-73-1150)

NHK巡回朗読セミナー姫路会場へのご案内
イーグレ姫路 4階 国際交流センター
電話 079-287-0800
JR姫路駅から姫路城方面(北へ)600m



神戸ライトセンターまつり

6月5日(日)「みえない人・みえにくい人・みえる人 み～んな集まれ!」と題し、「第10回神戸ライトセンターまつり」が開催されました。視覚障がい者のトータルサポートを協働して行っているボランティアとNPOの活動紹介など楽しいイベントが盛りだくさん。午前中、雨天にもかかわらず、会館利用者、近所の方、姫路方面からも来ていただきました。ステージでは、通所メンバーによるリコーダーのミニコンサート。ASV神戸榎本様によるミニ講演「点字ブロックの話」。朗V連からは、森本八千代さんが司会を担当。篠山市「山うぐいす」のメンバーによる朗読劇・丹波の昔話が演じられました。「良かったな!楽しかったな!来年も朗読劇楽しみだ!」と嬉しいお言葉をいただきました。ありがとうございます。

団体紹介のため、活動体験が行われ、朗V連では、パソコンを使って朗読体験をしていただきました。『耳からの情報もっとほしい。でも、自分の身近にはそういう場面が無い。何か良い方法は無いだろうか?』と相談に来られた方が3名。できる限りご要望に答えられるよう、幹事一同で知恵を出し合いながら、討議したいと思っています。地道に活動を継続することで、少しずつでも輪が広がっていけば嬉しいです。



6月5日 KLC まつりに参加

篠山に伝わる昔話を朗読劇で

「KLC まつりに何か出し物を」ということで、「まげぎらいのお稲荷さん」という篠山に伝わる昔話を朗読劇に脚色し発表することにしました。将軍様御上覧の大相撲で負けてばかりの篠山の力士たち、それを苦々しく思っている篠山藩主青山忠裕のために、領内の稲荷神社のきつねたちが力士に化けて江戸に上り、勝ち相撲をして殿を喜ばせるというお話です。ふだんの音訳では淡々と読むことに努めていますが、朗読劇となると勝手が違います。練習を重ねて殿様は殿様らしく、力士は力士らしくするのに少し時間がかかりましたが、なんとか本番を迎えることができました。本番がいちばんうまくいったかなあ

当日披露したデカンショ節の一節に「丹波篠山 山家の猿がヨイヨイ花のお江戸で芝居する ヨーイ ヨーイデカンショ」とありますが、篠山の山奥で活動している山うぐいすが「花の神戸(?)で芝居した」という格好となりました。

(朗読ボランティア 山うぐいす)

第19回 中山ワンダフルフェスタ

竹内昌彦講演会と 海援隊トーク&ライブ ♪

日時 2016年10月7日(金)

14:00 開場

14:50 主催者挨拶・盲導犬貸与式

15:00 竹内昌彦 講演会「私の歩んだ道-見えないから見えたもの-」

16:00 海援隊トーク&ライブ (17:30 終演予定)

会場 神戸文化ホール(大ホール) 神戸市中央区楠町 4-2-2 TEL 078-351-3535

主催 公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団 トラスコ中山(株)



- ・地下鉄「大倉山駅」より徒歩1分
- ・JR「神戸駅」より徒歩10分
- ・市バス「大倉山駅」より徒歩1分
- ・神戸高速「高速神戸駅」より徒歩8分
- ・阪神高速3号神戸線「京橋」より2km

中山視覚障害者福祉財団では視覚障がい者の皆さんの社会参加を支援する事業の一環として、毎年音楽公演を開催し、視覚障がい者やボランティアを招待されています。今年もご好意で朗V連にチケットをご用意くださいます。チケットを希望されるグループは、別紙の申込書に枚数を記入の上、同封の返信用封筒にて8月25日(木)必着でお申し込み下さい。チケットは各グループの皆様の申し込み状況により配分させていただきます。チケットには限りがありますので枚数につきましてはご希望に添えない場合もありますが、ご了承ください。

らくらく デイジー

デイジー録音を始めて約四年になりますが、最初の準備段階で「録音ソフトをダウンロードして保存する」という簡単なことがなかなかできなくて苦労したことを思い出します。「保存」ができたあとパソコンにインストールするのは簡単で、やっとデイジー化が始まりました。デイジー化へは、段階を踏んで移行することになり、まずは編集済みの録音テープをパソコンに取り入れ、デイジー図書に変換することからスタート。これは、何人かのリスナーさんがテープを希望されていたからです。その後、半年をめどにデイジー図書に移行することをリスナーさんに伝えながらパソコンを使ったデイジー図書作りに取り組みました。「はじめてのデイジー」を読み込み、各自のパソコンを持ち寄り、ソフトをインストールして、録音と編集の方法を学び合いました。これは案外スムーズにできました。テープ図書をデイジー化する作業で、録音ソフトに慣れてきていたのだと思います。そして半年後には完全にデイジー化することができました。今後の課題は各自の録音レベルを揃えて、より聞きやすい図書に仕上げていくことです。

録音手段はこれからも色々進化していくでしょうが、朗読図書を必要とされる方がいる限り、私たちも変化に対応できるようにしたいと思います。

マリア幼稚園 トビア

ポシェットがインターネットで見られます！

ポシェットが神戸ライトセンターのホームページに掲載されています。

カラーで掲載されていてとても読みやすいですよ！

神戸ライトセンターのホームページ (<http://www.klc.jp>) を開き、所属団体の項目から

「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら下記担当幹事までお知らせください

ブロック	地 区	氏 名
A	東部・北部地区	鈴木 由子 (篠山市 山うぐいす)
B	神戸・明石地区	大永 親子 (明石市 明朗会)
C	淡路地区	吉住 ミチエ (グリーンポエム)
D	東播地区	山本文子 (加西市 かしの実G)
E	西播地区	玉田 礼子 (たつの市 せせらぎ)

『ポシェット』では各グループの活動などを紹介しています。どうぞ原稿をお寄せ下さい。

その他、耳寄りな情報やご意見、ご希望なんでも結構です！

編集後記：

☆ 自分の無知も怖いけど、他人の鞭はもっと怖いと思いつつ、ムチムチもいいなと思うこの夏です。(ふ)

☆ 雨が降るたびにぐんぐん伸びる雑草のたくましが憎らしくもあり羨ましくもあるこの頃です。(た)